

平成20年

News

1, 2月 第15号



医療法人全心会



# 伊勢慶友病院

## 病院理念

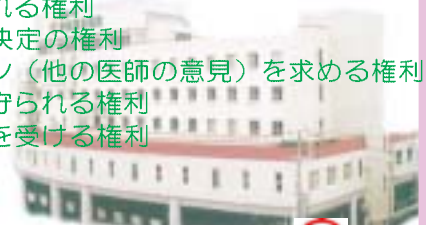
- 1 ひかり輝く心身であれ
- 2 患者さまの立場になって考えよ
- 3 責任を持って行動せよ

## 運営方針

- 1 患者さまの人権を尊重し、理解と納得に基づいた質の高い医療、介護を提供する。
- 2 地域の診療所、病院、介護関連施設との有機的連携を図る。
- 3 職員全員が安全意識、業務の改善意識を持ち、職務を遂行する。

## 患者さまの権利

- 1. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
- 2. 個人の尊厳が保たれる権利
- 3. 選択の自由と自己決定の権利
- 4. セカンドオピニオン（他の医師の意見）を求める権利
- 5. 個人情報・秘密が守られる権利
- 6. 医療の情報・説明を受ける権利



当院は全館 です

皆さんの理想の医療を求めて。

## NO M.R.I no Future

(M：皆さんの、R：理想の、I：医療)

あけまして、おめでとうございます。平成20年という、節目の年が感じられますが、皆様におかれましても、よい年でありますよう御祈り申し上げます。

平成15年3月に伊勢慶應病院の閉院が発表されましたが、21万余人もの方の病院存続への署名を頂き、後継病院として、「ひかり病院グループ」が決まりました。そして、平成15年10月1日に、慶應義塾大学伊勢慶應病院から、全心会伊勢慶友病院に変わり、今年ではや5年目になります。開院1年目は、療養病棟213床の改装工事を主に、院内の組織の充実を、2年目は、地域一般病院として機能分化と地域医療提供を掲げ、他院との連携に、3年目は、「病院機能評価」に一発で合格し、質の高い医療を示す基準を満たしていると認定されました。さらに、昨年4年目は、脳神経疾患研究所を開設し、脳神経に関する生理学的検査やCT・MRIなどの画像診断検査を中心に、認知症・パーキンソン病・脳血管障害などの高齢者社会のニーズにあった疾患の充実に努めました。

明治12年に三顧堂亀谷医院が開院され、現在置である常磐には、明治41年（1908年）に移り、その後、亀谷総合病院から慶應義塾大学伊勢慶應病院と移り、当院は三代目で、当院にとって、今年は当地100周年の記念の年に当たります。

南勢地域の医療体制が構築されようとしている中、当院は「高齢者医療」を提供する病院であります。高齢者の大半は、動脈硬化を基盤とした疾患（高血圧症・糖尿病・高脂血症・骨関節疾患など）を持っている、つまり‘病気を持っている’人です。成人では、健康であるとは、‘病気でないこと’であり、その医療は治療する事を意味します。一方、高齢者の医療では、治療も含めケア（介護・世話）をする事を意味します。高齢者医療の目的は、単なる臓器の治療ではなく、生活の質（QOL）を向上させることにあります。疾患の完治は望めず、生命の維持よりは死をみとることに対処せざるを得ない場合が多いです。皆様がそれぞれ固有の「生」を生きる人々であることを踏まえた医療や看護を提供しなければならないと考えています。高齢者の終末期医療が、理想的に行われるのは、人類の夢であり、永遠のテーマであります。皆さんの理想の医療（MRI）を目指し、職員一同努力いたします。

病院長 堂本 洋一

## 【認知症とその早期発見】

### 8) 二次的要因（環境の影響）



#### 二次的要因（環境の影響）

##### 1) 精神的要因

ストレス(動揺・不安など)、  
精神活動の少ない状態(廃用)

##### 2) 身体的要因

寝たきりの状態、栄養不良、聴力や視力の低下など。

##### 3) 環境的要因

環境の急変(家族や知人の死、退職、住居や経済  
状態の激変など)や人間関係のあつれき

力や視力の低下など、③環境的要因には、環境の急変（家族や知人の死、退職、住居や経済状態の激変など）や人間関係のあつれき等があります。

高齢社会と小児社会では、高齢者を取り巻く環境や状況が影響して認知症に進みやすいのです。高齢者の一人暮らし、アンバランスな食事、運動不足、不眠、ストレスなどが関与し、特に高齢者は病にかかりやすく、それを機に認知症に陥ります。これら二次的要因は、精神的要因、身体的要因、環境的要因に分類されます。①精神的要因としては、ストレス（動揺・不安など）、精神活動の少ない状態（廃用）があり、②身体的要因には、寝たきりの状態、栄養不良、聴

### 9) 軽症認知機能障害

最近、「軽症認知機能障害」という考え方がいわれています。記憶の障害はあるものの、その他の認知機能は保たれており、認知症とはいえない状態です。アルツハイマー病の前段階あるいは移行期で、その移行率は70%ともいわれています。この状態は知的グレーゾーンに位置して、正常加齢の範囲なのか病気の始まりなのか不明です。物忘れとか、一部の認知機能に明らかに障害があるが、まだ日常生活は何とか自分でやれる段階です。いわゆる、年をとったために起こる物忘れとはちょっと異質なもので、病的な物忘れであり、その大部分は通常、認知症に進行するので、早期診断と早期治療が必要です。

#### 軽症認知機能障害 M. C. I

mild cognitive impairment

記憶の障害はあるものの、その他の認知機能は保たれており、認知障害とはいえない状態

物忘れとか一部の認知機能に障害があるが、まだ日常生活は何とか自分でやれる段階

年をとったために起こる物忘れとはちょっと異質なものであって、病的な物忘れであり、その大部分は通常、認知症に進行する。

新年明けましておめでとうございます。

## 挨拶・感動

早いもので、地域のみなさまや患者さまに支えて頂き、5年目を向かえる事が出来ました。当初より「来て良かったと思って頂ける病院」をめざしてまいりました。平成18年には、質の高い医療を提供するために、病院機能評価を取得し、さらに充実した医療を提供できるように努めてゆきたいと思っています。

外来診療においては、新たに神経内科が開設され患者さまも増え、患者さまの看護サービス等に努めております。

入院病棟では、昨年10月よりパソコンによる看護記録等の時間短縮を図り、患者さまとの関わる時間を多く持てる努力もしています。

一日看護体験、高校生ボランティア、中学校体験学習等も受け入れ、家庭的雰囲気を作り患者さまにも喜んでいただいています。私どもも新たな気持ちになり、毎日のリクリエーションの他、ボランティアのみなさまのご協力で、ピアノ演奏、夏祭り、クリスマス会等も開催し患者さまにより多くの楽しみを日々提供できるように考えています。

院外活動に於いても、QCサークル東海支部三重地区で三重県知事より表彰もいただき院内、院外共に継続して躍進し、患者さま、ご家族のみなさまとの心のふれあいを大切にし愛される病院をめざし努力してゆきたいと思っています。

今後とも、よろしくお願ひ申しあげます。

看護部長 東内 弘子



## 言語療法室より 「失語症（しつごしょう）」

「失語症」は言語障害の一つで、脳卒中や頭部外傷などにより発症します。会話や読み書き、計算などに障害がでます。損傷された脳の場所、範囲によって失語症の症状や障害の程度が異なります。例えば、①相手の話を聞いても何をいっているのか理解できず、また間違っただけの言葉がたくさんでるため、会話が成立しにくい感覚性失語、②相手の話は理解できますが、話そうとする言葉が出にくかったり、間違っただけの言葉がうまく伝えられない運動性失語などがあります。失語症の中でも感覚性失語は認知症や聴覚障害と間違われやすいので注意が必要です。失語症を持った人への関わり方として、(1)間違いを笑ったり、分かったふりをせず、(2)せかさずゆっくり聞き、(3)質問するときは簡単な言葉を使い、「はい」「いいえ」で答えられる内容にすると会話がしやすくなります。その際、会話を促進するために、実物や絵、写真を見せるのもよいでしょう。

リハビリ言語療法 松山 裕彦

## 第4回糖尿病教室



11月22日に第4回糖尿病教室を開催しました。今回は『市販のジュースやお菓子のカロリーを知っていますか?』と題して飲み物やお菓子に含まれる砂糖の量を実際にスティックシュガーの本数に換算し展示してみました。

参加された方にはカロリーゼロの甘味料で作ったぜんざいを食べていただいたり、家の中でできる簡単な運動を理学療法士と一緒に試してみたりと楽しい時間をすごすことができました。



栄養科 伊藤 尚美

## インフルエンザ情報

2007年第49週のインフルエンザ定点あたり報告数は3.98（患者発生報告数18,868）と前週の報告数（定点あたり報告数2.29）を大きく上回った。都道府県別では北海道（19.0）、和歌山県（11.7）、青森県（11.5）、岡山県（11.0）、兵庫県（7.7）、山梨県（6.7）、神奈川県（6.5）、埼玉県（6.2）、千葉県（6.2）の順となっている。警報レベルを超えている保健所地域は12箇所（北海道9、青森県1、和歌山県1、岡山県1）に、注意報レベルのみを超えている保健所地域は38箇所（13都道府県）に共に増加した。

第36週以降、これまでにインフルエンザウイルスの検出はAH1亜型（Aソ連型）329件、AH3亜型（A香港型）40件、B型6件が報告されている



# 外来診療担当表

平成20年1月現在

	月	火	水	木	金	土
内科1		北川				宇田
総合診療科	北村	北村	北村		北村	北村 第2,4,5
内科3	玉田	玉田	井上	玉田	都島 月1回	山本
心療内科 東洋医学・小児科			玉田		玉田 月1回	玉田 第1,3
神経内科1	宮崎	宮崎	宮崎		宮崎	
外科	問山		荒木	鈴木	内科 竹尾	内科 第2(出) 宮西
整形外科	前田	前田	前田	前田	前田	前田
形成外来			天野			大阪医大 第4
脳外科	堂本	堂本	堂本	堂本	堂本	堂本
小児科	園田	前澤 第3	玉田	園田	玉田	
泌尿器科		県立 奈良医大				県立 奈良医大
婦人科		馬島	馬島	馬島		
皮膚科	横山			森		

診療時間 9:00 ~ 12:00 / 午後～時間外診療（診療科と曜日によって多少の変更がある場合があります）  
休診日 日曜、祝祭日、年末年始(12/30 午後～1/3) ※担当医は変更になることもあります

## お知らせ

### インフルエンザ ワクチン接種受付中

※詳細は医事課初診受付にておたずね下さい

### クリスマス会 開催

♪ハンドベル演奏会♪

12月22日(土)、伊勢ハンドベルクワイアの皆さんによる演奏会が今年もボランティアで開催され、1階待合ホールで約100人の入院患者さんに楽しんでいただきました。

「オペラ座の怪人」など6曲を素晴らしい音色で演奏していただき、ハンドベル会員の皆さんありがとうございました。



### 秋の消防訓練

11月29日(木) 午後3時から看護部職員を主に75名が参加して、病棟の避難誘導訓練などを行いました。



### 新人紹介

H19・10月8日～H19・12月17日 に入職されたみなさん

長岡 千鶴子	准看護師(外来)
谷口 恵美子	看護助手(2階西)
金田 貴子	言語聴覚士(神内言語室)
豊田 明己	准看護師嘱託(3階南)
大橋 千草	看護師パート(2階西)
森田 夏子	准看護師パート(2階西)